

久御山町交流促進アクション・プラン

～ Discover again Kumiyaama ～

魅力の再発見と地域住民の誇り

平成28年2月

久御山町

～ 魅力の再発見とふるさと意識の醸成に向けて ～

人口減少と少子高齢化 — こうした問題に対応する施策の一つとして、本町では、交流人口の増加による地域の活性化を目指すべく、「久御山町交流促進アクション・プラン」を策定いたしました。

本プランでは、地域の魅力を磨きあげることで外部からの人口を呼び込むこと、また、その魅力に地域住民にあらためて気付いてもらうことで、久御山への愛着心や誇りがより強く根付くことを目指しております。「観光」という視点を通して「ふるさと意識」が芽生えることで、「住み続けたい」と住民に思ってもらえるまちを実現させたいと考えております。

今日まで「観光」に対してあまり高い意識を持ってこなかった本町において、本プランは、観光や活発な交流への第一歩であり、これを足がかりに着実な歩みを進めてまいりたいと決意しております。



久御山町長 信貴 康孝

「久御山の魅力を再発見する旅に出よう。
久御山を自慢しよう。」

6月に第1回目を開催して始まった久御山町交流促進会議は、計7回のワークショップを重ねみなさんの知恵を集めてプランを練りました。印象深かったのは第2回目です。7月の暑い日、会議室を飛び出しマイクロバスに乗って町内の魅力を再発見する小さな旅に出かけました。巨椋池干拓田に入ると北の空は大きく開け右手に比叡山、左手に愛宕山を望む絶景の中をバスは進み、ハス園、旧山田家住宅、漁師道、圃場、ハウス、円福寺、竹久夢二と巡りました。

半日のほんとは小さな旅でしたので久御山の魅力の百分の一も再発見できていないことでしょう。それでもとっても楽しくワクワクする旅でした。この時に委員の一人が「久御山で生まれて久御山に嫁ぎましたが久御山の良さを知りませんでした。こんなに豊かな・・・」とつぶやかれた言葉を忘れることができません。

久御山には、歴史・文化・農・工・景観・多様な活動と多くの魅力的な資源があります。ただ、住民には当たり前すぎて気づかれていないこともあります。「観光」の視点を得て、久御山の魅力を再発見しましょう。自慢しましょう。そして、すてきな資源を次世代につなぐ活動や創造する活動が更に進むことを願っています。



同志社大学客員教授 谷口知弘

目次

第1章 交流促進アクション・プランの策定にあたって	1
1. プラン策定の目的	
2. プランの位置付け	
3. 計画年次	
第2章 本町をとりまく環境の変化	2
1. 国の動向	
2. 京都府の動向	
3. 久御山町の動向	
第3章 久御山町の「観光」	3
1. 久御山町の「観光」現況	
2. 久御山町の魅力	
3. 交流における課題	
第4章 基本理念	5
第5章 基本方針	6
第6章 アクション・プラン	8
1. 3つの方針に基づく推進事業	
(1) 「人を集める、交流する」事業	
(2) 「魅力を学ぶ、伝える」事業	
(3) 「『久御山』を発信する」事業	
2. 協働の推進に向けて	
参考資料	13